

全員協議会 会議録（要点筆記）

平成26年6月25日（水）

午後 1時30分 開会

午後 1時45分 閉会

場所 : 全員協議会室

〔報告案件〕

1 平成25年度半田市各会計の決算見込みについて

水野節総務部長：資料に基づき説明

質疑なし

2 小型家電の回収及び再資源化事業について

折戸富和環境監：資料に基づき説明

中川健一議員：この事業のコストは年間どのくらいかかると計算していますか。

折戸富和環境監：コストといたしましては、まず専用の回収ボックスが15個で約91万円。それと開始に当たりまして、各世帯用のチラシだとかポスターを考えておりまして、印刷製本費の方が併せて約32万円。全体で123、4万円くらいを考えています。その他、小型家電を売却する形になりますので、あとは収益になります。

山田清一議員：昨年10月に全員協議会で小型家電回収にかかるモデル事業の実施という事で確か公民館等でモデル事業としてやられたと思いますけれど、そのモデル事業の実績や課題等がありましたらお話いただきたいと思います。

折戸富和環境監：モデル事業につきましては、昨年の12月から、今年の2月にかけて市内4つの地区で実施をしております。実施は高根区、上池区、瑞穂区、板山区でそれぞれ違う方法で実施をしました。ステーション回収だとか拠点回収、ボックス回収、あとは地区の資源回収という事でそれぞれ回収量としましては、一番多かったのがステーション回収と地区の資源回収。地区として最高がステーションで1,586kg。資源回収の方が1,500kg。一番少なかったのがボックス回収、公民館の方にボックスをずっと設置して持ってきてもらうのですが、そこでは188kg。特徴としましては、資源回収の方ですと大きな物が出てきておりますけれど、その中で意見があったのが、持ち去りが心配。パソコンや携帯というのは他の人が持って行ってしまうと嫌だという事で、その辺りがボックス回収みたいな物で持って行かれないような方法があると良い。それと方法としては、ひとつの方法だけではなく、複合の方法でやって欲しいとのご意見がありましたので、今回、ボックスと拠点回収というような複合で考えさせていただいております。

〔その他〕

- ・半田中学校での緊急地震速報音声を誤って屋外に流した件の詳細事項について

小坂和正教育部長：昨日の18時30分頃、半田中学校で本日行われます地震避難

訓練の準備として、速報放送の試験ボタンを押す際に校舎内と校舎・校庭との連動スイッチの解除確認を怠ったという人為的な操作ミスでございますが、速報の音声と警報音が校庭スピーカーから流れてしまいました。1分間ほどの間でしたが、数回繰り返されたため、地域の方から学校への問い合わせが3件、市への問い合わせが1件あったとともに、警察へも問い合わせがありまして、警察から中学校の方へ問い合わせがありました。学校としましては、その後すぐに「テストです」という放送をいたしました。また、今日の朝には、教員が中学校周辺の地域住民の家庭200件程度ですが、お詫び文を持って説明に回らせていただきました。半田中学校のホームページのトップページにもお詫び文を掲載させていただきました。近隣地域の皆さまには、大変大きな不安とご迷惑をおかけしまして、大変申し訳ございませんでした。今後、同様の事が起こらないよう、各学校に対して注意喚起してまいります。よろしくお願いいたします。